

要 約

試験委託者

環境省

表題

2,6-キシレノールの藻類 (*Pseudokirchneriella subcapitata*) に対する生長阻害試験

試験番号

A050069

試験方法

本試験は「新規化学物質等に係る試験の方法について〈藻類生長阻害試験，ミジンコ急性遊泳阻害試験及び魚類急性毒性試験〉」（薬食発第1121002号，平成15・11・13製局第2号，環保企発第031121002号，2003）（以下，化審法テストガイドラインと称する）に準拠して実施した。

- 1) 培養方式： 止水式（開放系），振とう培養（100rpm）
- 2) 暴露期間： 72時間
- 3) 試験濃度（設定値）：
対照区，
4.00, 8.50, 18.0, 38.0, 80.0 mg/L
公比：2.1
- 4) 試験液量： 100 mL／容器
- 5) 連数： 6 容器／対照区，3 容器／濃度区
- 6) 初期細胞濃度： 前培養した藻類 5×10^3 cells/mL
- 7) 試験温度： 23 ± 2 °C
- 8) 照明： $75 \mu\text{E}/\text{m}^2/\text{s}$ （装置中央フラスコ液面付近）で連続照明
（装置内変動：±20％以内）
- 9) 分析法： 高速液体クロマトグラフィー（HPLC）

結 果

1) 試験液および試験培養液中の被験物質濃度

測定値の設定値に対する割合は、暴露開始時の試験液において 97～107 %、暴露終了時の試験培養液において 92～96 %であった。阻害濃度の算出には測定値の平均値（時間加重平均）を用いた。

2) 生長速度の比較による阻害濃度

半数生長阻害濃度 $ErC50$ (0-72h) : 47.7 mg/L (95%信頼区間：算出不可)

最大無影響濃度 $NOECr$ (0-72h) : 3.94 mg/L

3) 生長曲線下面積の比較による阻害濃度

半数生長阻害濃度 $EbC50$ (0-72h) : 14.8 mg/L (95%信頼区間：9.89～22.2 mg/L)

最大無影響濃度 $NOECb$ (0-72h) : 3.94 mg/L

4) 藻類の形態観察

暴露終了時の顕微鏡下での細胞形態観察の結果、全濃度区において、細胞形態の変化（収縮、膨張、破裂等）や細胞凝集は認められず、また、対照区との相違もなかった。